

## エコロードプロジェクトとは

地球環境の危機が懸念される現在、地球環境に配慮して自然環境を保全し、資源を消費するのではなく、循環させるような社会を目指すことが重要になってきました。

私たちも、自分たちが日常の生活を行っていくときに、会社や学校や、町内会といったそれぞれの立場でも、環境に配慮した行動をしています。

そして、どの様な立場であれ、私たちの“消費者としての行動”が、現代社会においては、たいへん大きな比重を占めています。そこでこの“消費者としての行動”(\*)を取り上げ、私たちの活動の対象とします。

社会のシステムが複雑化し、巨大化した、われわれの今の生活の中で、“消費者としての行動”の中から、地球環境を守るという究極の成果をあげていくのは、気の遠くなるような長い旅になりそうです。

その旅を私たちは、【エコへの道＝エコロード】と名付け、みなさまと共にその最初の一步踏み出していこうと決意し、このプロジェクトを立ち上げました。

そして、私たちはこの長い旅を苦難の道としようとは思ってはいません。アイデアを出すことに創造の楽しみを感じ、みなさまとの語り合いを喜びとし、私たちの生活をより豊かにしていくものにしたいと考えています。

=====  
(\*) その“消費者としての行動”は、何かを“買う”という、最初の活動から始まり、その買った物を“使い”、そして最後は、“捨てる”ことまで含めることができます。

また、“買う”“消費する”のは、“食べるもの”や“着る物”といった、無くてはならない“物”もありますし、“電気・ガス”のような形のないものまであります。また、“買わないこと”も含めなければなりません。

=====

## エコロードプロジェクト参加団体

NPO法人エコ・シビルエンジニアリング研究会

文京緑の環境を考える会

文京エコリナ

各団体の紹介

1) NPO法人エコ・シビルエンジニアリング研究会

本研究会は工学院大学専門学校土木科の講師を中心に有志が集まり、環境問題の解決に向けて力を合わせ、自らも学びつつ、出来ることから社会貢献することを

目的として設立しました。

NPO 名称の由来ですが、「シビルエンジニアリング」は、英語では広く自然・都市環境に関するデザインや建築・管理などを意味することから、

「広く市民生活における自然・都市環境に関する技術を学び、その環境に配慮した展開により、

社会に貢献する」という意味を込めたものです。

建築、造園、防災、危機管理、コンクリート材料、電気、化学、土木、環境などの専門知識を持つ方や、市民生活においてもエコの視点や意識を持つ方からなる集団です。

## 2) 文京緑の環境を考える会

平成 22 年の「文京区環境学習リーダー育成講座」の受講メンバー有志で構成された、約 10 名弱の団体です。

文京区在住、在勤だけでなく、文京の緑の環境について関心のあるメンバーから構成され、植物や建築、リサイクル活動推進のエキスパートも含まれますが、基本的には素人の集まりです。

各自の興味ある分野の企画やパネル作成、資料作成を共同で行い、展示会、野外活動やイベントに参加しています。

(活動実績)

「身近な緑発見ツアー」の開催

文京エコ・リサイクルフェア参加 (主催団体)

文京区クールアースフェア参加など。

## 3) 文京エコリナ

平成 24 年の「文京区環境学習リーダー育成講座」の受講メンバーで構成された、10 名の団体です。女子力が高めで、親しみやすい名称「文京エコリナ」は、主婦や会社員など、環境に関心があるメンバーが集まり、「E C O」なイベントに親しむ活動を始めました。

(活動実績)

- ・平成 25 年 3 月 30 日 (土) (「文京の身近な緑の発見! -東大の樹木」(JST (独) 科学技術振興機構プチエコプログラム参加事業) (文京緑共催)
- ・文京区クールアースフェア参加

# 瓢箪（ひょうたん）について



☆瓢箪はウリ科の植物で葫蘆（ころ）とも呼ぶ、原産地はアフリカ。

☆種類は5 cm位の極小千成り、2 mを超える大長、胴回り1 mを超えるジャンボひょうたんなどが有る。

☆日本では『日本書紀』720年の中に瓢（ひさご）として登場する。

☆瓢箪3つで三拍子（三瓢子）揃って縁起が良い。六つで無病（六瓢）息災などと言われる。

☆豊臣秀吉の千成り瓢箪の様に多くの武将の旗印や馬印などの意匠に使われた。

☆乾燥させたものの果肉部分を除去し容器として水筒や酒の貯蔵に使われていた（微細な穴が有る為水蒸気により気化熱が奪われ中身が気温より低く保たれる）

## 瓢箪の栽培

### 1. 種まき・植え付け：

40 cm位の平鉢 or プランタに  
発芽しやすい土を入れて種を埋める。



瓢箪のたね



新芽

### 2. 苗の植え替え：15 cm位に育ったら じか植えにする。（園芸の土、化成肥料）



苗



蔓



葉

### 3. 園芸用の支柱を立て蔓を這わせる。

### 4. 最初に雄花が咲き始め2～3番目の芽から 雌花も咲き始める。（受粉）



雄花



雌花

### 5. 径2 cm位の支柱で棚を作る。

### 6. 夏場の水やりと葉につく青虫捕り。

### 7. 秋に葉が枯れたら瓢箪の実を よく日光に当て乾燥させる。

### 8. 蔓が枯れたら収穫。

### 9. 更に年末まで乾燥。



果実



# 瓢箪（ひょうたん）について



☆瓢箪はウリ科の植物で葫蘆（ころ）とも呼ぶ、原産地はアフリカ。

☆種類は5 cm位の極小千成り、2 mを超える大長、胴回り1 mを超えるジャンボひょうたんなどが有る。

☆日本では『日本書紀』720年の中に瓢（ひさご）として登場する。

☆瓢箪3つで三拍子（三瓢子）揃って縁起が良い。六つで無病（六瓢）息災などと言われる。

☆豊臣秀吉の千成り瓢箪の様に多くの武将の旗印や馬印などの意匠に使われた。

☆乾燥させたものの果肉部分を除去し容器として水筒や酒の貯蔵に使われていた（微細な穴が有る為水蒸気により気化熱が奪われ中身が気温より低く保たれる）

## 瓢箪の栽培

### 1. 種まき・植え付け：

40 cm位の平鉢 or プランタに  
発芽しやすい土を入れて種を埋める。



瓢箪のたね



新芽

### 2. 苗の植え替え：15 cm位に育ったら じか植えにする。（園芸の土、化成肥料）



苗



蔓



葉

### 3. 園芸用の支柱を立て蔓を這わせる。

### 4. 最初に雄花が咲き始め2～3番目の芽から 雌花も咲き始める。（受粉）



雄花



雌花

### 5. 径2 cm位の支柱で棚を作る。

### 6. 夏場の水やりと葉につく青虫捕り。

### 7. 秋に葉が枯れたら瓢箪の実を よく日光に当て乾燥させる。

### 8. 蔓が枯れたら収穫。

### 9. 更に年末まで乾燥。



果実